NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞から広がる世界

2．学校名

北海道札幌市立鼻南小学校

3．実践者名（代表者名）

月澤康宏

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　35人

6．単元（本時の学習課題）名

「気温とくらし」

7．目標（狙い）

猛暑に関連する記事の中から興味を持った記事を選び、そこから考えたことを話し合い、気温が私たちの暮らしと密接に関係していることを知る。

8．評価の視点

自分が選んだ記事を読んで考えを持ち、話し合うことで考えを広げたり深めたりしたことを、新聞にまとめることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞から広がる世界」［総合学的な学習の時間：3時間］

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①猛暑に関する新聞記事を読んで、自分の考えを持ち、シートに書く。（1時間）
②気温がどのように私たちの暮らしに影響しているかを話し合う。（1時間）
③学習したことを生かして新聞記事の見出しを考え、新聞を書く。（1時間）

（留意点）
・提示する記事は、いろいろな考えが生まれるものを1時間で読みとれる数だけ選ぶ。
・小学生が新聞記事を一人で読むことは、未習の漢字や難しい語句があり難しいので、新聞記事はみんなで読み、意味などを確かめて、同じ土俵の上で自分の考えが書けるよう配慮する。
・2つ以上の記事を選んだ子には、児童の実態に合わせて1つに絞らせたり、2つを関連付けたりしながら考えを書かせていく。
・子供たちから出された考えを、「私たちの暮らし」と「産業」の2点に絞って整理していく。
・新聞を書くときには、見出しをしっかり考えさえ、それを筆文字で配列よく書かせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

気候に関する記事であったため、記事をみんなで読むときは難しい言葉に出会い、意味を確かめながら読んでいった。授業を行った時期が晩秋であったため、とにかく暑い夏であったが、猛暑のことは子供たちの記憶からはやや薄れていた。しかし、猛暑のことから逆に冬の気候を予想させたときは、各地から初雪の便りが

12．成果と課題

（成果）新聞記事に興味を持つ子が増え、家庭学習や自由研究で新聞記事を取り上げる子が増えた。
（課題）新聞記事を活用することは当たり前であるが、できるだけタイムリーな話題を取り上げることが、子供たちの興味関心を持たせるということでは大切なことである。その点で、今回取り上げた記事はやや弱かった、しかし、授業づくりを夏前から行ってきたため、タイムリーなものを取り上げることは難しいところもある。